

第29回 町田市子ども読書活動推進計画推進会議 次第

2025年7月1日
町田市立中央図書館ホール

1 開 会

図書館長 挨拶

2 委員紹介

3 議 事

- (1) 第四次町田市子ども読書活動推進計画2024年度取組結果について 資料2
- (2) 第五次町田市子ども読書活動推進計画2025年度取組予定について 資料3

4 情報交換

5 その他

次回の会議予定について（1月～2月）

6 閉 会

配布資料一覧

資料1 町田市子ども読書活動推進計画推進会議 委員一覧

資料2 第四次町田市子ども読書活動推進計画2024年度取組結果報告書(案)

資料3 第五次町田市子ども読書活動推進計画2025年度取組予定

町田市子ども読書活動推進計画推進会議委員一覧（2025. 6. 1～）

選 出 区 分	氏 名	備考
町田市公立小学校長会の代表 (成瀬小学校)	吉成 美紀	指名
町田市公立中学校長会の代表 (鶴川中学校)	大石 眞二	指名
町田市立小学校の読書活動に携わる保護者 (小山小学校)	輪田 和子	委嘱
町田市立中学校PTA連合会の代表 (木曾中学校)	兼子 由美恵	委嘱
町田市私立幼稚園協会の代表 (きそ幼稚園 園長)	櫻井 恵美子	委嘱
町田市法人立保育園協会の代表 (なごみ保育園 園長)	松井 美和	委嘱
図書館又は学校図書館に係わるボランティア (おはなしポケット)	長尾 厚子	委嘱
図書館又は学校図書館に係わるボランティア (鶴川第三小学校図書指導員)	福田 比呂子	委嘱
町田市立図書館協議会の代表	福田 有美子	委嘱
子ども生活部児童青少年課長	島崎 翔	委嘱
子ども生活部子育て推進課長	田中 茂明	委嘱
学校教育部教育総務課長	伊藤 豪章	指名
学校教育部指導課長	大山 聡	指名
生涯学習部図書館長	中嶋 真	指名

第四次町田市子ども読書活動推進計画

2024年度取組結果 報告書(案)

町田市教育委員会

2025年7月

目次

基本目標Ⅰ	子どもが本と出会うきっかけ作り
1-1	……… 図書館でのおはなし会
1-2	……… 「子育てひろば」でのおはなし会
1-3	……… 学童保育クラブのおはなし会
1-4	……… 子どもセンターのおはなし会
1-5	……… 自由民権資料館まつりでのおはなし会
1-6	……… 「きしゃポッポ」等での読み聞かせ
1-7	……… 健診時のおはなし会(廃止)
1-8	……… ブックトーク
1-9	……… 図書館のおすすめブックリスト
1-10	……… ことばらんどショートショートコンクール
1-11	……… 図書館でのイベント・講座
1-12	……… 文学館でのイベント・講座
1-13	……… 図書館見学の受け入れ
1-14	……… マイ保育園登録時の絵本配布
1-15	……… イベント等における本の活用
1-16	……… 母子バッグへのおすすめ絵本リスト同封
1-17	……… 各校特色のある読書活動
基本目標Ⅱ	いつでも身近なところに本がある環境作り
2-1	……… えいごのまちだ
2-2	……… 図書館児童資料
2-3	……… 公立保育園および地域子育て相談センター
2-4	……… 学童保育クラブ
2-5	……… 子どもセンター
2-6	……… 「学校図書館活用の手引き」
2-7	……… 学校図書館の蔵書整備
2-8	……… 学校図書館支援貸出
2-9	……… 「子育てひろばカレンダー」の発行
2-10	……… 「生涯学習NAVI」の発行
2-11	……… まちだ子育てサイトの活用
2-12	……… 図書館公式ホームページ・Twitter
2-13	……… 「家庭学習推進の手引き」の提供
2-14	……… 「本と出会う場所」マップ

基本目標Ⅲ	子どもの読書に関わる人の配置と育成
3-1	……… 学校図書館担当者研修
3-2	……… 新任教諭への図書館研修
3-3	……… 児童文学講座の実施
3-4	……… 保護者向け絵本の読み聞かせ講座の実施
3-5	……… 図書館おはなし会ボランティアの養成
3-6	……… 文学館おはなし会ボランティアの養成

基本目標 I ◎子どもが本と出会うきっかけ作り

基本目標	通し番号	取組グループ	取り組み	担当課	対象	内容	2024年度目標	2024年度取組	2024年度取組結果	自己評価
1	1	おはなし会	図書館でのおはなし会	図書館	乳幼小保	乳幼児向けから小学校低学年向けまで、年齢・発達にあったおはなし会を、各図書館が工夫をこらして実施する。	・2024年度は、ボランティアの役割の検討なども踏まえて、より効果的に開催できるよう検討を行う。	・2023年度と同様の日時と規模感で定期的に開催する。	<p>・全館の担当者による打ち合わせを7回行い、おはなし会、出張おはなし会の実施状況等を議論した。</p> <p>・以下のとおり定例のおはなし会を開催した。</p> <p>【館内おはなし会】(大きい子向けおはなし会+小さい子向けおはなし会)</p> <p>中央図書館 53回開催、552名参加 さるびあ図書館 16回開催、82名参加 鶴川図書館 11回開催、75名参加 金森図書館 46回開催、524名参加 木曾山崎図書館 11回開催、72名参加 堺図書館 16回開催、82名参加(ほかに、こうさぎ保育園向けおはなし会 8回開催、170名参加) 鶴川駅前図書館 22回開催、236名参加 忠生図書館 30回開催、394名参加 計 205回 2,017名参加</p> <p>【館内乳幼児向けおはなし会】</p> <p>中央図書館 22回開催、269名参加 さるびあ図書館 10回開催、175名参加 鶴川図書館 11回開催、56名参加 金森図書館 11回開催、135名参加 木曾山崎図書館 11回開催、40名参加 鶴川駅前図書館 11回開催、164名参加 忠生図書館 11回開催、114名参加 計87回953名参加</p> <p>出張おはなし会について、以下のとおり実施した。</p> <p>【中央図書館】</p> <p>・子どもセンターまあち「こわいおはなし会」:1回開催、17名参加 ・藤の台小学校出張おはなし会:1回開催、52名参加</p> <p>【中央図書館】【さるびあ図書館】</p> <p>・まあちでだっこのおはなし会:4回開催、165名参加</p> <p>【さるびあ図書館】</p> <p>・せりがや冒険遊び場前でのおはなし会:7回開催、113名参加</p> <p>【木曾山崎図書館】</p> <p>・七国山小学校おはなし会:4回開催、252名参加</p> <p>【堺図書館】</p> <p>・WAAAOおはなし会:2回開催、20名参加</p> <p>【鶴川駅前図書館】</p> <p>・久美堂本町田店:1回開催、9名参加</p> <p>【忠生図書館】</p> <p>・図師小学校:1回開催 69名参加 ・忠生小学校:1回開催 65名参加 ・子育てひろばイベント内での図書館PR+おはなし会:6回開催、72名参加</p> <p>このほか臨時のイベントとして、各館でこわいおはなし会や英語絵本のおはなし会等を行った。</p>	B

基本目標 I ◎子どもが本と出会うきっかけ作り

基本目標	通し番号	取組グループ	取り組み	担当課	対象	内容	2024年度目標	2024年度取組	2024年度取組結果	自己評価
1	2	おはなし会	「子育てひろば」でのおはなし会	子育て推進課	乳幼保	「子育てひろば」事業の一つとして、地域子育て相談センターが乳幼児向けおはなし会を開催する。絵本や紙芝居の読み聞かせを中心に行う。見て聞いて絵本の楽しさを味わえるように、わかりやすい絵本を提供しながら取り組む。	<ul style="list-style-type: none"> ・おはなし会の開催の維持 ・お話ボランティアの活用 	<ul style="list-style-type: none"> ・引き続き、子育てひろばの中で、絵本に触れる機会を設ける。 ・年齢や季節に合わせた絵本の紹介を行っていく。 ・子育てひろばの中だけでなく、読み聞かせボランティアによるおはなし会を取り入れていく。 	<ul style="list-style-type: none"> ・おはなし会を主とした子育てひろばを160回開催した。うち5回は忠生地域子育て相談センターと図書館が連携し、読み聞かせを行った。 ・子育てひろばの中で読み聞かせ等の時間を必ず作ることで、絵本やお話に触れる機会が持てるようにした。また、町田地域と鶴川地域子育て相談センターでは、子育てひろばの他に「スポットタイム」にて、絵本の読み聞かせを開催した。 	B
1	3	おはなし会	学童保育クラブのおはなし会	児童青少年課	小	在籍する子どものために、おはなし会を実施する。また、子どもセンターや図書館のおはなし会に参加しておはなしを聞く機会を確保する。	<ul style="list-style-type: none"> ・おはなし会を通じて、児童の発達に応じ、図書に触れ合うきっかけづくりを図る。 	<ul style="list-style-type: none"> ・毎月1回以上おはなし会を実施し、児童の発達に応じた図書に触れ合うことで、読む楽しさを体感できるような機会を創出する。 	<ul style="list-style-type: none"> ・中央学童保育クラブおよび18の指定管理施設において、月1回以上、おはなし会を実施した。うち5のクラブでは地域のボランティアと協力して行った。 ・とくに中央学童保育クラブでは、毎週おはなし会を開催し、職員が読み聞かせるだけでなく、楽しくやりがいを感じながら読書活動に参加できるよう、高学年児童が話し手として参加し、低学年児童を楽しませる役割を果たした。 ・あわせて、2024年10月14日に、学童保育クラブ支援員を対象とした、絵本の読み聞かせ講座を開催し、21名の参加があった。 	A

1	4	おはなし会	子どもセンターのおはなし会	児童青少年課	乳幼小	市民に向けた「乳幼児向けおはなし会」を行う。	<p>【ばあん】</p> <ul style="list-style-type: none"> おはなし会を、ボランティア団体と連携しながら実施する。 	<ul style="list-style-type: none"> 引き続き、継続して事業を実施していく。 	<ul style="list-style-type: none"> ばあんからの依頼を受けたボランティア団体によるおはなし会を年16回実施した。また、夏休みも対象を拡大(小学校低学年まで)して、1回行った。 絵本だけではなく、紙芝居・パネルシアター・大型シアター等を織り交ぜ、季節に合わせたものや当日の利用年齢を考えたおはなしを実施した。またおはなしの合間には、手遊び等も行った。 常連の親子だけではなく、新規の参加者も多かった。保護者が「いつも楽しみにしている」と感想を述べていた。 	B
							<p>【つるっこ】</p> <ul style="list-style-type: none"> おはなし会を、ボランティア団体と連携しながら実施する。 	<ul style="list-style-type: none"> 引き続き、継続して事業を実施していく。 	<ul style="list-style-type: none"> ボランティア団体「柿の木文庫」と連携し、おはなし会を年7回実施した。 読み聞かせだけでなく簡単なスキンシップ遊びや手遊びなどを交え、乳幼児がより楽しく参加できるよう内容を工夫した。 8月、12月は小学校の休業期間のため、乳幼児向けの内容だけでなく、小学生向けの内容の読み聞かせも実施した。 	B
							<p>【ばお】</p> <ul style="list-style-type: none"> おはなし会を、ボランティア団体と連携しながら実施する。 	<ul style="list-style-type: none"> 引き続き、継続して事業を実施していく。 	<ul style="list-style-type: none"> ばおからの依頼を受けたボランティア団体によるおはなし会を年12回実施した。 図書館で借りた絵本や紙芝居を提供し、おはなし会の中で使用した。(～2025年2月) 絵本だけではなく、紙芝居等を織り交ぜ、季節に合わせたものや当日の利用年齢を考えたおはなし会を実施した。またおはなしの合間には、パペットを使って話かけたり、手遊び等も行った。 読み聞かせだけでなく絵本を自然に触ってもらえるような声かけ等、工夫をして飽きずに参加できるような内容であった。 	B
							<p>【わーお】</p> <ul style="list-style-type: none"> おはなし会を、ボランティア団体と連携しながら実施する。 	<ul style="list-style-type: none"> 引き続き、継続して事業を実施していく。 	<ul style="list-style-type: none"> ボランティア団体「さくらんぼの会」、「おはなしの森」によるおはなし会を毎月開催し、計24回実施した。季節行事にちなんだ内容などを提供することで事業が定着している。 ボランティア団体「おはなしの森」は終了した後、たくさん絵本を提供することで親子で本を楽しむ姿が見られる。また、保護者から読み聞かせや絵本の選び方等、相談する姿が見られた。 堺図書館との共催事業を年2回行い、夏休みに小学生向けの「こわーいおはなし会」を実施した。 	B
							<p>【ただON】</p> <ul style="list-style-type: none"> おはなし会を、ボランティア団体と連携しながら実施する。 	<ul style="list-style-type: none"> 引き続き、継続して事業を実施していく。 	<ul style="list-style-type: none"> 月1回ボランティア団体による乳幼児向けのおはなし会を開催し、絵本の読み聞かせや季節にちなんだおはなしなどを提供した。また、幼稚園や保育園などに通う乳幼児に向けて午後の時間に2回実施した。 音楽とおはなしのコラボレーションを12月(クリスマスバージョン)、3月(春のコンサート)に実施し乳幼児のみでなく、幅広い年齢の子どもたちが参加した。 夏休みに忠生図書館との共催事業「忠生図書館からの挑戦状」を実施した。 	B
							<p>【まあち】</p> <ul style="list-style-type: none"> おはなし会を、ボランティア団体と連携しながら実施する。 	<ul style="list-style-type: none"> 引き続き、継続して事業を実施していく。 	<ul style="list-style-type: none"> 毎月1回、おはなしボランティア団体「にこぼ」による、手遊び、わらべうた、絵本の読み聞かせなどのおはなし会(乳幼児向け)を実施した。 4、6、10、2月に各1回ずつ、中央図書館・さるびあ図書館との共催による乳幼児向けおはなし会を実施した。 夏休み期間に1回、さるびあ図書館との共催による小学生向けのこわいおはなし会を実施した。 	B

基本目標 I ◎子どもが本と出会うきっかけ作り

基本目標	通し番号	取組グループ	取り組み	担当課	対象	内容	2024年度目標	2024年度取組	2024年度取組結果	自己評価
1	5	おはなし会	自由民権資料館まつりのおはなし会(紙芝居上演)	自由民権資料館	小中保	町田の郷土史に興味を持ってもらうために、「町田の民話」の紙芝居等を実施する。	・イベントや体験講座において町田の郷土史に興味を持ってもらえる図書の活用を目指す。	・引き続き、イベントや体験講座において町田の郷土史に興味を持ってもらえる図書を紹介する。	・企画展「回せ！地域経済―江戸・明治の町田の金融史―」開催に伴い、2024年11月4日～12月2日の間、鶴川駅前図書館関連コーナーにて企画展関連図書の紹介をした。 ・自由民権資料館の休憩室において、展示担当学芸員のオススメ図書コーナーを設置し、町田の郷土史に興味を持ってもらえる図書の紹介をした。	B
1	6	おはなし会	「きしゃポッポ」等での読み聞かせ	生涯学習センター	乳保	「きしゃポッポ」、「パパと一緒にきしゃポッポ」、親子対象のイベント等の保育を伴う事業において、読み聞かせや絵本の紹介を行う。	・「パパと一緒にきしゃポッポ」において、毎回読み聞かせ、紹介を行う。 ・大型絵本を活用する。	・「パパと一緒にきしゃポッポ」において、読み聞かせや紹介、絵本の展示を続けていく。また、引き続き大型絵本も活用する。 ・町田市生涯学習センター運営見直し実行計画に基づき、事業の種類や回数は見直しを行っている。	・毎月テーマに沿った2冊を選び、「パパと一緒にきしゃポッポ」で紹介し、読み聞かせを行った。 ・大型絵本や紙芝居を活用することで、読み聞かせの際、親子で楽しみやすいように工夫をした。	B
1	8	ブックトーク	ブックトーク	図書館	幼小中	普及・継続に向けて、ブックトークのノウハウ共有とスキル向上を図る。より効果的なPRに努める。	・ブックトークを事業として位置づけ、実施の在り方について検討する。	・ブックトークの効果的な実施方法について、検討を行っていく。	・以下のとおりブックトークを実施した。 【中央図書館】 ・12月13日「藤の台小学校(4年生)」:59名 ・2月14日「町田第三中学校(1～3年生)」:45名 【金森図書館】 ・11月26日「南第四小学校(1年生・支援級)」:93名 【忠生図書館】 ・12月4,5日「図師小学校(3・5年生)」:168名 ・12月17,19日「忠生小学校(3・5年生)」:124名	B
1	9	ブックリスト	図書館のおすすめブックリスト	図書館	乳幼小中保	＜赤ちゃん向け＞ 「あかちゃんとのしむえほん」 ＜幼児向け＞ 「ほんのたからじま 3・4・5さい」 ＜小学生向け＞ 「本のたからじま」(学年ごと) その他、新しい本からおすすめ「みんなでよもう子どもの本」、「YA通信」等を発行する。	・継続して発行し、関係部署等に配布する。	・地域からの依頼に基づき、継続して図書館見学や職場体験を開催する。 ・「ほんのたからじま 3・4・5さい」を、引き続き保育園・幼稚園に案内及び配布する。 ・「みんなでよもう子どもの本」については、作成方法の見直しを検討し、あわせて利用者に効果的に届くように検討を行う。 ・2024年度も継続して、「YA通信」等を発行し、市内の全中学校・公立高校、私立学校等37校、子どもセンター等へ配布する。	【中央図書館】 ・「ほんのたからじま(3・4・5さい)」を、全市立保育園に配布し、私立保育園及び幼稚園に電子データで案内し、依頼のあった幼稚園に配布した。 ・「しん1ねんせい用本のたからじま」を図書館で利用券を作成した新1年生に509枚配布した。 ・「みんなでよもうこどもの本」191,192,193号を発行した。 ・「YA通信」262号から268号まで発行し、市内の全中学校・公立高校、私立学校等37校、子どもセンター等へ配布した。 【金森図書館】 ・乳幼児おはなし会に初めて参加する方に、「あかちゃんとのしむえほん」を渡した。 ・夏休みに、「本のたからじま」の特集をし、ブックリストも一緒に置いた。 【塚図書館】 ・「みんなでよもうこどもの本」を、10月29日の図書館見学時に相原小学校2年生へ60部ほど配布した。 【忠生図書館】 ・子育てひろばイベント内のおはなし会で、参加者に「あかちゃんとのしむえほん」のリーフレットを配布した。 ・児童コーナーで「みんなでよもうこどもの本」や「ほんのたからじま」に掲載されている本の特集を行い、あわせて各リーフレットも配布した。	B

1	10	子ども向け読書活動普及事業	ことばらんどショートショートコンクール (旧:町田市創作童話コンクール)	文学館	小中	青少年の創作活動の機会提供の一環として、子どもたちの豊かな人間性を育むことを目的として行っている「ことばらんどショートショートコンクール事業」を実施する。	・コンクールへの応募総数1,050編を目指す。	・引き続きコンクールへの応募を促すため、各校担当教員等への積極的なPRと書き方講座の実施、受講を促す。 ・市内施設等での受賞作の展示等を実施し、コンクールのPR活動に努める。	・市内小中高生を対象に「ことばらんどショートショートコンクール2024」を実施した。小学生561編、中学生541編、高校生47編の総数1,149編の応募があった。 ・コンクールの審査委員長を務める田丸雅智氏本人の指導による「ショートショート書き方講座」1回(参加生徒数141名)をはじめ、文学館職員による書き方講座を計14回(小学校12回、中学校1回、高等学校1回)開催し、延べ1,280名の児童・生徒の受講があった。 ・2023年度受賞作品の展示を中央図書館、市庁舎イベントスタジオで実施した。	A
1	11	子ども向け読書活動普及事業	図書館のイベント・講座	図書館	乳幼小中	「一日図書館員」、「図書館の達人養成講座(まちクエ)」のような参加・体験型イベント、「まちだ図書館まつり」等の図書館事業を行う。	・各館でイベント引き続き実施する。	・イベントの参加者が増えるような工夫をし、引き続き体験型イベントの開催を行う。 ・子ども・若者が参画できるような取組を検討・推進する。	【中央図書館】 ・児童向けイベントとして「にんきものはだれだ! ?」、「まちクエキッズ」を実施した。 ・中学生から大学生までを対象とした図書館員を体験できるイベント「一日図書館員」を4回実施し、13名の参加があった。 ・中央図書館内を巡って謎を解くイベント「まちクエ2024」を7月23日から9月1日まで実施し、127名の参加があった。アンケート回答者73名、内イベント対象(中学生・高校生世代)は30名だった。 ・若者自身で図書館でのイベントの企画・運営を行ってもらう、「図書館プランナー(図書館イベントボランティア)」の若者が参画する読書普及イベントについては、イベントの企画運営を行う若者ボランティア「図書館プランナー」が企画したイベントを5件実施することができた。 ＜実施企画＞「本の福袋」企画、「恋と愛が叫びたがっているんだ恋愛漫画推し語り会」、「図書みくじ」、「LLブックのよみきかせ会」、「エコたわしをつくろう」 【鶴川図書館】 ・夏休みイベント「にんきものをさがせ! つるだんピック」、「図書館でしらべてみよう!」を実施した。 【金森図書館】 ・夏休みイベント「金森図書館で虫をさがしてみよう!」を実施した。 【堺図書館】 ・夏休みイベント「いきものをさがせ!」を実施した。 【忠生図書館】 ・夏休みイベント「ひつじちゃんをさがせ!」、「としよかんまじよからのちようせんじょう!」を実施した。 ・POPコンテストは510名からの応募があり、第1次審査は図書館職員、第2次審査は図書館各館来館者・書店の来店者・地域文庫運営者の投票により、最優秀賞1名、優秀賞2名が決定。また、図書館協議会委員による投票で図書館協議会賞1名、応募作品全体から図書館長特別賞1名が選ばれた。入賞作品はしおりにして、市内各所に配布(2025.4.15)した。	A
1	12	子ども向け読書活動普及事業	文学館のイベント・講座	文学館	乳幼小中	文学館の特徴をいかした、子ども対象の講座等を実施する。	・子ども達の「文学の扉」となる事業を、成長過程や年齢に応じたプログラムで実施する。 ・子ども達に「創作」の機会や専門家から直接指導を受けられる実体験の場を提供する。	・子どもの発育に応じたおはなし会を定期的実施し、親子のコミュニケーションを通じて「ことば」への関心を育てる。 ・一部事業見直しを行い、新たな担い手の確保とより魅力的なプログラムの提供を目指す。 ・屋外への吟行を実践し、「ことば」のリズムと創作の楽しさを体験する機会となる俳句教室を年2回(春・秋)開催する。 ・夏季(子ども向け)展覧会の開催に併せ、保育園・幼稚園施設から団体観覧者を積極的に誘致し、子ども達に文学に触れあう機会を提供する。	・子どもの年齢に応じた絵本の読み聞かせやわらべうたの事業として、「ちんぷいぷい」(0・1歳児対象)を23回、「ことばであそぼう! みんなあつまれ!」(2歳～未就学児対象)を5回実施し、それぞれ508名(250組)、74名の参加があった。 ・小学生を対象に、野外に赴いて吟行を行う俳句教室「俳句でハイク」を春季(5月から7月)と秋季(10月から12月)に各3回行い、春季17名、冬季17名の参加があった。 ・絵本原画を中心とする夏季展の開催時期に併せて保育園・幼稚園の団体観覧者を募り、5施設から、0歳から5歳児を中心に計106名の見学者を数えた。 ・夏季展覧会の会期中に、文化振興課、産業政策課、まちだ語り手の会との共催事業としておはなし会を開催した。5回で75名(35組)の親子が参加した。	B

基本目標 I ◎子どもが本と出会うきっかけ作り

基本目標	通し番号	取組グループ	取り組み	担当課	対象	内容	2024年度目標	2024年度取組	2024年度取組結果	自己評価
1	13	子ども向け読書活動普及事業	図書館見学の受け入れ(利用ガイダンス、施設見学)	図書館	幼小中	学校等からの見学ツアーを受け入れ、図書館の利用方法、図書館の行っている仕事等を広める。	・依頼に基づき継続して受け入れていく。	・地域からの依頼に基づき、継続して図書館見学や職場体験を開催する。	<ul style="list-style-type: none"> ・地域からの依頼に基づき、以下のとおり実施した。 【中央図書館】 ・6月27日「高ヶ坂小学校(2年生)」:57名参加 ・10月24日「つくし野小(3年生)」:47名参加 ・11月29日「町田第二小(2年生)」:68名参加 【さるびあ図書館】 ・6月19日,26日「町田第一小学校(2年生)」:133名参加 ・10月31日「町田第三小学校(2年生)」:15名参加 【鶴川図書館】 ・5月7日,10日「鶴川第四小学校(2年生)」:68名参加 ・10月8日「鶴川第三小学校(2年生)」:18名参加 【金森図書館】 ・1月20日「小川小学校(3年生)」:70名参加 ・2月17日「南第三小学校(2年生)」:55名参加 【木曾山崎図書館】 ・10月9,16,29日「七国山小学校(2年生)」:84名参加 ・11月15,29日「本町田小学校(2年生)」:86名参加 【塚図書館】 ・10月29日「相原小学校(2年生)」:56名参加 【鶴川駅前図書館】 ・6月24日「鶴川第三小学校(2年生)」:55人参加 ・11月11日「大蔵小学校(2年生)」:6名参加 ・11月22日「金井小学校(2年生)」:74名参加 【忠生図書館】 ・10月8日「山崎小学校(6年)」職業体験:5名参加 ・11月7日「図師小学校(2年生)」:69名参加 ・11月25日「山崎小学校(2年生)」:55名参加 	B
1	14	子ども向け読書活動普及事業	マイ保育園登録時の絵本配布	子育て推進課	乳保	0歳で新規に「マイ保育園」登録とした赤ちゃんには絵本を配布する。絵本に関しては、図書館と連携して0歳向けのものを選定する。	・マイ保育園登録につながるよう、勧奨訪問で登録を勧めていく。	・引き続き、0歳のマイ保育園新規登録者には、絵本を配布していく。	・978冊の絵本を0歳のマイ保育園新規登録者に配布した。	B
1	15	子ども向け読書活動普及事業	イベント等における本の活用	生涯学習センター	乳幼小中保	イベントや講座等を開催する際に、テーマや対象にあった本を展示・紹介する。	・講座やイベントにおいて、本の展示や紹介を行う内容を含めて、企画・実施する。	・講座やイベントにおいて、本の展示や紹介を行う内容を含めて、企画・実施する。	<ul style="list-style-type: none"> ・平和祈念事業において、子ども向け紙芝居の読み聞かせを行った。 ・家庭教育支援学級において、受講生同士が絵本を持ち寄って、紹介・情報交換し合う時間を設けた。 ・家庭教育支援学級ゼミ企画講座「家族で話せる！ポジティブな性教育」において、絵本の紹介を行った。 	B

1	16	子ども向け読書活動普及事業	母子バッグへのおすすめ絵本リスト同封	保健予防課	乳保	母子手帳と一緒に配布される母子バッグに、赤ちゃんにおすすめの絵本のリストを入れる。	・赤ちゃんにおすすめの絵本を紹介し、絵本に親しんでもらう。	・引き続き、妊娠届出または転入の妊婦に対して、赤ちゃんにおすすめの絵本のリストを母子保健バッグに封入して配布する。	・妊娠届出の妊婦及び転入の妊婦に対し、リーフレット「あかちゃんとのしむ絵本」を封入した母子保健バッグを配布した。 (4～3月)妊娠届出:2,218件、転入:257件	B
1	17	各学校での読書活動	各校特色のある読書活動	学校・指導課	小中	教育課程「指導の重点」に明記し、市立小・中学校においてそれぞれ特色ある読書活動に継続的に取り組む。	・教育課程「指導の重点」に位置付けた、各校の特色ある読書活動を推進する。	・特色ある読書活動に取り組んでいる学校の実践例を研修等で紹介できるように、情報収集を行う。	・特色ある読書活動に取り組んでいる学校の実践例を研修等で紹介できるように、情報収集を行った。	B

総括	A評価	B評価	C評価	16
	3	13	0	

基本目標Ⅱ ①いつでも身近なところに本がある環境作り

基本目標	通し番号	取組グループ	取り組み	担当課	対象	内容	2024年度目標	2024年度取組	2024年度取組結果	自己評価
2	1	図書資料の充実	えいごのまちだ	図書館	乳幼小中	町田市が取り組む「えいごのまちだ」事業を推進し、英語の児童書を充実する。	・電子書籍サービスの音声付き電子書籍Read-Along(リード・アロング)と、多読コーナーの周知を図る。	・英語多読につながる図書の購入を進め、英語多読コーナーの周知に努める。 ・ふるさと納税対象事業であるため、支援を受けるための宣伝に力を入れる。	・PRのために新しいチラシを作成し、読み聞かせ向きの絵本の紹介(表面)、電子書籍サービス・ふるさと納税の紹介(裏面)をした。 ・親子で参加する英語絵本の読み聞かせ講演会、8月に「子どもと一緒に英語絵本を楽しもう！」を開催し、多読コーナーや英語絵本の周知を行った。また、後半の低学年向けでは電子書籍Read-Alongを使用した読み聞かせを行った。 ・英語多読講演会として、10月に英語多読初心者向け講演会「英語多読を始めよう！」を全2回の連続講座で開催した。初めて連続講座形式で行い、ワークショップ(ブックトーク)の時間を多くとることができた。	A
2	2	図書資料の充実	図書館児童資料	図書館	乳幼小中	図書館において、児童・生徒の興味関心や調べ学習に対応できる蔵書構成、資料の充実に努めるとともに、引き続き幅広いニーズに迅速に応えられるよう、情報収集に努める。	・館で行っているカウンター業務における読書相談を活用し、館の利用者のニーズではなく、市立図書館の情報として把握する仕組みを構築する。	・カウンター業務における読書相談の活用方法を全館の担当者の打ち合わせで検討する。	・選定会議で現物を見たうえで、新刊の内容を確認して収集を行った。 ・カウンター業務における読書相談を丁寧に行い、利用者のニーズ把握に努めた。 ・利用頻度の高い乳幼児向け絵本・基本書は買換え・所蔵換え等を行って、状態の良い資料の提供を心がけた。 ・小学校の教科書改訂に伴い、ニーズのありそうな知識の本を複数購入した。	B
2	3	図書資料の充実	公立保育園および地域子育て相談センター	子育て推進課	乳幼	引き続き、絵本の状況確認を行いながら、必要に応じて本の購入や図書館の再利用本活用で資料の充実を図る。また図書館の団体貸出もあわせて利用する。	・子ども達に絵本に触れる機会を多く作っていく。	・自分で興味のある本を選べる楽しさを感じられるよう、図書館の利用を進めていく。 ・再利用図書の活用を行い、園内の貸し出し本の充実を図っていく。	・保育園では日々の保育の中で保育士が読み聞かせを行い、乳児期から絵本に触れる機会を作った。 ・活動のひとつとして園児が図書館に赴き、団体利用貸し出しを利用した。自分で好きな絵本を選びじっくりと読む楽しさを体験できた。 ・鶴川地域子育て相談センターでは、絵本の貸し出しコーナーを設置し、利用者が館内で楽しむ絵本を充実させた他、絵本の貸し出しも開始し、利用者から好評をいただいている。	B
2	4	図書資料の充実	学童保育クラブ	児童青少年課	小	事前にリスト等で選定した再利用本を年代別に、計画的に受入れる。団体貸出では、年代別のおすすめ等をパッケージ化することで利用の促進を図る。	・再利用本を活用し学童保育クラブの蔵書を充実させることで、児童の発達に応じた図書に触れ合う機会を増やす。 ・定期的に団体貸出を活用し、おはなし会や読み聞かせを充実した内容で開催する。	・利用者や地域の方から提供される再利用本を活用する。 ・図書館において定期的に実施する団体貸出を活用し、おはなし会や読み聞かせを充実した内容で開催する。	・利用者からの本の提供、図書館の団体貸出、図書の新規購入によって、蔵書を充実させることで、おはなし会や読み聞かせの拡充につなげた。	B

基本目標Ⅱ ◎いつでも身近なところに本がある環境作り

基本目標	通し番号	取組グループ	取り組み	担当課	対象	内容	2024年度目標	2024年度取組	2024年度取組結果	自己評価
2	5	図書資料の充実	子どもセンター	児童青少年課	幼小中	事前にリスト等で選定した再利用本を年代別にし、計画的に受入れる。団体貸出では、年代別のおすすめ等をパッケージ化することで利用の促進を図る。	・再利用本や団体貸出を活用し、図書の充実を図る。 ・図書の新規購入の際は、子ども委員会や来館者のおすすめ等をパッケージ化することで利用者の子どもたちからリクエストを募り、子どもの意見を反映させる。	・引き続き、利用者や地域の方から提供される本、再利用本や団体貸出を活用する。 ・子ども委員会や来館する子どもたちからリクエストを募り、図書の新規購入を行う。	・利用者からの本の提供、図書館の団体貸出、図書の新規購入で図書の充実を図った。 ・図書の新規購入にあたっては、子ども委員会や利用する子どもたちからのリクエストを募った。	B
2	6	学校図書館の整備	「学校図書館活動の手引き」	学校・指導課	施	活用状況を把握するとともに研修等の内容に反映させ、普及・啓発を図っていく。	・「学校図書館活動の手引き」を活用し、学校図書館の効果的な活用を図る。	・第1回目の研修で、「学校図書館活動の手引き」について周知するとともに、各学校の取組について情報交換を行う。	・第1回目の研修で、「学校図書館活動の手引き」について周知するとともに、各学校の取組について情報交換を行った。	B
2	7	学校図書館の整備	学校図書館の蔵書整備	学校・指導課	小中	組織的・計画的な選書、調和のとれた蔵書の構成方法について留意しながら、考慮し、学校図書館資料の充実を図る。	・組織的・計画的な選書、調和のとれた蔵書の構成方法について留意しながら、学校図書館資料の充実を図る。	・図書の選定については、学校の図書担当の教員が十分理解しておく必要がある。 ・2024年度についても、年度の早い段階で図書担当教員や図書指導員に教育総務課とも連携し蔵書の構成方法や廃棄基準などについても周知を図る。	・2024年5月に図書担当教員や図書指導員に蔵書の構成方法や廃棄基準などについて周知した。	B
2	7	学校図書館の整備	学校図書館の蔵書整備	教育総務課	小中	組織的・計画的な選書、調和のとれた蔵書の構成方法について留意しながら、考慮し、学校図書館資料の充実を図る。	・学校図書館図書標準全校達成。 ・学校図書更新比率全国平均以上の達成校31校。 ・町田市立学校図書館図書廃棄規準の策定。	・各学校図書館の蔵書数を確認し、引き続き学校図書館図書標準および学校図書更新比率全国平均以上の達成に向けて支援する。 ・関係部署や学校からの意見を取り入れながら、町田市立学校図書館図書廃棄規準を策定する。	・「町田市立学校図書館図書廃棄規準」を策定した。 ・学校図書更新比率目標達成校が31校を上回った。	B
2	8	学校図書館の整備	学校図書館支援貸出	図書館	小中施	図書館から学校図書館への貸出のしくみを改善するなど、支援方法を見直す。	・学校図書館支援貸出を通して、各学校への支援を行い、学校図書館との連携を進めていく。	・追加購入した「テーマ別貸出セット」や新たに作成した「学校支援おすすめリスト」などを各学校へ周知することで、学校支援貸出の活用を進めていく。	・学校図書館支援貸出は、小中学校あわせて75件の依頼があり、総計で2,660冊の貸出があった。	B

基本目標Ⅱ ◎いつでも身近なところに本がある環境作り

基本目標	通し番号	取組グループ	取り組み	担当課	対象	内容	2024年度目標	2024年度取組	2024年度取組結果	自己評価
2	9	情報の発信(保護者向け)	「子育てひろばカレンダー」の発行	子育て推進課	保	保育園で実施している子育てひろばに関する情報誌「子育てひろばカレンダー」に、図書館で開催しているおはなし会情報を掲載している。毎月25日に発行し、市内約160箇所配布している。	・親子がおはなしに触れる機会を発信していく。	・引き続き、図書館のおはなし会を子育てひろばカレンダーに掲載していく。	・「子育てひろばカレンダー」に図書館のおはなし会を堺地域18回、南地域23回、町田地域33回、鶴川地域と忠生地域が各55回、計184回掲載している。 ・「子育てひろばカレンダー」の冊子を163箇所配布している。 ・「子育てひろばカレンダー」は「子育てサイト」にも掲載しており、「子育てサイト」のQRコードチラシを各施設にて掲示している。	B
2	10	情報の発信(保護者向け)	「生涯学習NAVI」の発行	生涯学習センター	保	市民が参加できる講座・講演会、イベント情報を集めた情報誌「生涯学習NAVI」の中で、読書や読み聞かせに関する講座、おはなし会の情報を発信する。	・引き続き、読書や読み聞かせに関する講座、おはなし会等の情報を分かりやすく発信する。	・引き続き、図書館や文学館の情報だけではなく、まちライブラリーや柿の木文庫など、さまざまな地域団体や教育機関等に情報提供を呼び掛け、情報の充実を図る。	・子どもとその保護者を対象とした、おはなし会や紙芝居や絵本、ことば遊びのイベントの情報を25件掲載した。(春1,350部・夏1,350部、秋号1,350部、冬号1,620部を各市内公共施設や相模原市・大学・専門学校等で配布)	B
2	11	情報の発信(保護者向け)	まちだ子育てサイトの活用	子ども総務課	保	「おはなし会」等のイベントや子どもの読書活動推進普及に役立つ情報を掲載する。	・引き続き、各施設で行われている「おはなし会」等のイベントの情報を発信する。	・子どもやその保護者向けのイベント情報があれば、まちだ子育てサイトに掲載するように、庁内に呼び掛け、情報の充実を図る。	・庁内への周知及び掲載の呼び掛けを行うことで、子どもやその保護者向けのイベント情報の充実を図った。 ・イベントが多い夏休み期間中の情報をまとめたページを全体として作成したほか、イベント情報をトップページのスライダー画面に掲載し、情報にアクセスしやすくした。	B
2	12	情報の発信(保護者向け)	図書館ホームページ・Twitter	図書館	保	「おはなし会」等のイベントや子どもの読書活動推進普及に役立つ情報を掲載する。	・子ども読書に関する情報(イベント)をわかりやすく、早く発信していく。	・本の紹介ページ等の効果的な周知方法を検討していく。	・毎月1日と15日に図書館ホームページとX(旧 Twitter)にてイベント情報を掲載している。更新回数は、図書館ホームページが273回、X(旧 Twitter)が91回。 ・まちだ子育てサイトに「おはなし会」の情報を掲載している。夏休みは各館イベントごとにページを作成した。また、「本のたからじま」「みんなでようこどもの本」「あかちゃんといっしょに絵本を読みましょう」のページを更新した。更新回数は169回。 ・図書館ホームページの更改にあわせて、見やすい「こどもページ」について検討を行った。	B

2	13	情報の発信(保護者向け)	「家庭学習推進の手引き」の提供	学校・指導課	保	全家庭に「家庭学習推進の手引き」を作成し、配付していく。	・家庭でも、親子で本の読み聞かせをしたり、一緒に本を読む時間や場を設定したりするなど、読書に親しむことを啓発する。	・家庭学習の一環として、「読書活動の推進」を行うことを継続する。 ・中央図書館とも連携し、電子書籍の活用事例等の紹介を行い、クロムブックを用いた家庭での読書活動も啓発する。	・家庭学習の一環として、「読書活動の推進」を行うことを継続した。 ・中央図書館とも連携し、電子書籍の活用事例等の紹介を行い、クロムブックを用いた家庭での読書活動も啓発した。	B
2	14	情報の発信(保護者向け)	「本と出会う場所」マップ	図書館	保	本に出会える施設や、おはなし会等を実施している団体の情報を集約した読書マップを2020年に作成・公開する。	・読書マップの内容を充実させていく。	・引き続きホームページ版については、写真の追加等各施設の魅力が伝わるようなページづくりを検討する。	・2025年度の読書マップの改訂版作成に向け、記載事項と現在の状況の差異について、各施設に照会を行った。	B

総括	A評価	B評価	C評価	15
	1	14	0	

基本目標Ⅲ 子どもの読書に関わる人の配置と育成

基本目標	通し番号	取組グループ	取り組み	担当課	対象	内容	2024年度目標	2024年度取組	2024年度取組結果	自己評価
3	1	施設運営職員の育成研修	学校図書館担当者研修	学校・指導課	施	図書指導員・学校司書が司書教諭等と連携して円滑な図書館運営を図れるよう、学校ごとの組織的・計画的な蔵書管理、調和のとれた蔵書や環境整備、学校図書館を活用した学習等、学校図書館を充実していくための研修を行う。また、図書指導員間での情報共有を行う。	・図書指導員と学校の図書担当が連携して、学校ごとの組織的・計画的な蔵書管理、調和のとれた蔵書や環境整備、学校図書館を活用した学習等、学校図書館を充実していく。	・図書指導員と学校の図書担当が連携して、学校ごとの組織的・計画的な蔵書管理、調和のとれた蔵書や環境整備の研修を計画・実施する。 ・図書指導員間での情報共有を取り入れた研修の場の設定を行う。	・図書指導員と学校の図書担当が連携して、学校ごとの組織的・計画的な蔵書管理、調和のとれた蔵書や環境整備の研修を計画・実施した。 ・図書指導員間での情報共有を取り入れた研修の場の設定を行った。	B
3	2	施設運営職員の育成研修	新任教諭への図書館研修	学校・指導課	施	研修を通して、専門性が深まるように啓発していく。	・授業内容の充実を図るために、図書館の図書支援サービスの活用を啓発する。	・初任者等研修の中で、町田市図書館の利用と図書支援サービスについての研修内容を取り入れる。	・初任者等研修の中で、町田市図書館の利用と図書支援サービスについての研修内容を取り入れた。	B
3	3	講座	児童文学講座の実施	文学館	保	児童文学への理解を深めることにより、個人の読書行動や子どもの読書に関わる活動に寄与する。	・引き続き、参加者ニーズと社会状況の変化に応じて、絵本に対する保護者への関心を喚起する講演会の実施を検討する。	・より多くの方に参加してもらえるよう、参加者ニーズ、参加資格、講座内容の再検証を行う。 ・絵本作家や絵本づくりに携わる関係者を招聘し、絵本づくりの現場からリアルな声を届けることで、保護者の関心を喚起する。	・夏季展関連イベントとして、絵本作家・どいかや氏と絵本編集者・土井章史氏を招聘し講演会を2回開催、計154名の参加があった。 ・桜美林大学との共催事業として同大学芸術文化ホールプロデューサーの齊藤実雪氏による「絵本ワークショップ」を開催、8名の参加があった。	B
3	4	ボランティア養成	保護者向け絵本の読み聞かせ講座の実施	図書館	保	保育園・幼稚園や小学校で読み聞かせを行っている保護者に対して、絵本の読み聞かせ講座を実施する。	・館ごとに個別で講座を開催するのではなく、町田市立図書館の事業として、全館で狙いを定めて講座内容を決定し、実施する。	・全館の児童担当者による打合せを行い、ボランティア講座を含めて、全体でテーマおよび開催時期を定めて、館で担当を振り分けて講座を開催する。	・2023年度に実施した(全館の)児童担当者による打合せに基づき、以下の講座を開催した。 【担当館:金森・堺図書館/会場:中央図書館】 ・6月6日「絵本の読み聞かせ講座～基礎編」:15名参加 【担当館:金森・堺図書館/会場:金森図書館】 ・6月27日「絵本の読み聞かせ講座～基礎編」:14名参加 【担当館:さるびあ・鶴川図書館/会場:中央図書館】 ・9月24日「絵本の読み聞かせ講座～実践編」:12名参加	B

3	5	ボランティア養成	図書館おはなし会ボランティアの養成	図書館	保	ボランティアの更なる活躍のため、レベルアップ研修、おはなし会スキル講習を検討し、実施する。	・館ごとに個別で講座を開催するのではなく、町田市立図書館の事業として、全館で狙いを定めて講座内容を決定し、実施する。	・全館の児童担当者による打合せを行い、ボランティア講座を含めて、全体でテーマおよび開催時期を定めて、館で担当を振り分けて講座を開催する。 ・引き続きボランティア養成講座を実施する。	・2023年度に実施した(全館の)児童担当者による打合せに基づき、はじめて「絵本」に特化したボランティアの講座を開催した。 【担当館:中央・木曾山崎・忠生図書館/会場:中央図書館】 11月5・12・19日に開催。受講者15名/修了者14名。	B
3	6	ボランティア養成	文学館おはなし会ボランティアの養成	文学館	保	「ちんぷいぷい支援隊」メンバーの更なるレベルアップを図るための研修を継続して行う。メンバー以外の子ども読書に関わる人も研修に参加してもらう。	・引き続き、ボランティアメンバーによる実演内容の点検と相互指導の機会を設ける。 ・ボランティアメンバーの新規募集について、検討する。	・外部講師を招聘した研修会の確保に努める。 ・演者による定期的なプログラムの実演機会を設け、相互に意見交換の場を設ける。 ・事業担当の司書による資料紹介を通して、購入資料の有効活用機会とする。 ・学生ボランティア等の参加について検討する。	・外部講師を招聘した研修会は実施できなかった。 ・ボランティアグループ、保育士を交えた紙芝居、絵本読み聞かせ、わらべうたや手遊びのブラッシュアップ研修を年1回開催し、実演プログラムの振り返りを行った。 ・プログラム作成時にメンバー同士によるデモンストレーションを実施し研鑽の機会とした。 ・学生ボランティアの参加、ボランティアメンバーの新規募集は実現しなかった。	C

総括	A評価	B評価	C評価	6
	0	5	1	

第五次町田市子ども読書活動推進計画

2025年度取組予定

町田市教育委員会

2025年7月

目次

基本目標Ⅰ	子どもが本と出会うきっかけ作り
1-1	……… 図書館のおはなし会
1-2	……… 文学館のおはなし会
1-3	……… 学童保育クラブのおはなし会
1-4	……… 子どもセンターのおはなし会
1-5	……… 「子育てひろば」のおはなし会
1-6	……… 児童・生徒へのブックトーク
1-7	……… おすすめブックリスト
1-8	……… 赤ちゃんにおすすめの絵本の紹介
1-9	……… 図書館のイベント・講座
1-10	……… 若者の参画イベント
1-11	……… 図書館見学の受け入れ(利用ガイダンス、施設見学)
1-12	……… 移動図書館の出張運行
1-13	……… 文学館のイベント・講座
1-14	……… 絵本、児童文学、漫画を題材にした展覧会
1-15	……… マイ保育園登録時の絵本配布
1-16	……… 各校特色のある読書活動
基本目標Ⅱ	いつでも身近なところに本がある環境作り
2-1	……… 町田第一中学校図書室ここまちベース
2-2	……… 玉川学園駅前連絡所児童図書室
2-3	……… 図書館
2-4	……… 子どもセンター
2-5	……… 公立保育園および地域子育て相談センター
2-6	……… 学校図書館支援貸出
2-7	……… 学校図書館の蔵書整備
2-8	……… 「学校図書館活用の手引き」の活用
2-9	……… 学校図書館の運営人材の確保
2-10	……… 電子書籍サービスの活用
2-11	……… 図書館ホームページ等での情報発信
2-12	……… 「みんなが読める本」の周知活動
2-13	……… 「家庭学習推進の手引き」の提供
2-14	……… 「子育てひろばカレンダー」の発行

基本目標Ⅲ	子どもの読書に関わる人の育成と支援
3-1	……… 学校図書館担当者研修
3-2	……… 新任教諭への図書館研修
3-3	……… 市民向け絵本の読み聞かせ講座
3-4	……… おはなし会ボランティアの養成講座
3-5	……… 児童文学講座

基本目標Ⅰ ◎子どもが本と出会うきっかけ作り

基本目標	通し番号	取組グループ	取り組み	担当課	対象	内容	2025年度の取組予定	現状の課題／2026年度以降の予定等
1	1	おはなし会の実施	図書館のおはなし会	図書館	乳幼小保	乳幼児向けから小学校低学年向けまで、年齢にあったおはなし会を行い、子どもや保護者におはなしの楽しさを味わってもらいます。子どもが本に親しみ、本に興味を持ってもらえるように読書の機会を提供します。	・2024年度と同様の日時と規模感で定期的開催する。	・ボランティアの役割検討なども踏まえて、より効果的に開催できるように検討を行う。
1	2	おはなし会の実施	文学館のおはなし会	図書館(文学館)	乳幼小保	絵本や紙芝居の読み聞かせ、わらべうたやことば遊びを通じた親子のコミュニケーションを促し、「ことばの扉」となるような事業を行います。	・子どもの発育に応じたおはなし会を定期的実施し、親子のコミュニケーションを通じて「ことば」への関心を育てる機会を提供する。 「ちちんぷいぷい」0～1歳児対象:23回実施 「ことばであそぼう！みんなあつまれ！」2歳～未就学児対象:4回実施 ・「ことば」のリズムと創作の楽しさを体験する俳句教室を年2回(春・秋)実施する。	・事業を担うボランティアメンバーの更なるレベルアップを目指し、研修を行う。 ・ボランティアメンバーが減少していることから、新規ボランティアを募集する。 ・近年は猛暑が続いており、屋外での事業については夏を避ける、熱中症対策を十分に行うなどの対策が必要である。
1	3	おはなし会の実施	学童保育クラブのおはなし会	児童青少年課	小	学童保育クラブに入会する子どもたちが、本に親しんでもらえるようにはなし会を行います。	・各学童保育クラブで、地域のボランティア団体等と連携し、おはなし会を、月に1回以上実施する予定である。 ・また、学童保育クラブの支援員に向けて、図書館の読み聞かせ講座の開催についても周知を行う。	・おはなし会を実施していない学童保育クラブが、育成支援の一環としておはなし会を開催できるよう、図書館の読み聞かせ講座に関する情報などを周知し、サポートを行う。
1	4	おはなし会の実施	子どもセンターのおはなし会	児童青少年課	乳幼小中保	子どもセンターに来館する子どもたちが、本に親しめるように、地域のボランティア団体と連携しながら、おはなし会を行います。	・引き続き、各子どもセンターで地域ボランティア団体等と連携し、おはなし会を月に1回以上実施する予定である。	・地域ボランティア団体と連携しながら、子どもたちに興味を持ってもらえる本の紹介や親子で本に触れ合う機会を提供する。
1	5	おはなし会の実施	「子育てひろば」のおはなし会	子育て推進課	乳幼小保	乳幼児を対象とした「子育てひろば」で、絵本の読み聞かせを行います。また、その年齢にあった絵本や、季節の絵本などの紹介を利用者に行います。	・子育てひろばの中で、絵本に触れる機会を設ける。 ・年齢や季節に合わせた絵本の紹介を行う。	・引き続き子育てひろばの中で、絵本に触れる機会を設ける。 ・年齢や季節に合わせた絵本の紹介を行う。

基本目標Ⅰ ◎子どもが本と出会うきっかけ作り

基本目標	通し番号	取組グループ	取り組み	担当課	対象	内容	2025年度取組予定	現状の課題／2026年度以降の予定等
1	6	ブックトークの実施	児童・生徒へのブックトーク	図書館	幼小中	図書館職員が学校へ出向き、学校の読書活動の一環として、テーマに沿って本を組み合わせて紹介するブックトークを行い、読書の楽しさを伝えます。また、図書館の紹介や利用案内も行います。	・ブックトークの効果的な実施方法について、検討を行っていく。	・学校からの依頼に継続的に応えられるよう、シナリオやスキルを蓄積・共有する仕組みを再構築する。
1	7	ブックリストの作成・配布	おすすめブックリスト	図書館	乳幼小中保他	図書館で購入した児童図書の中から、図書館職員が選んだおすすめ本を集めて、年代別のリーフレットを作成・配布します。それぞれに、おすすめ本の簡単な解説を掲載します。	・「ほんのたからじま 3・4・5さい」を、引き続き保育園・幼稚園に案内及び配布する。 ・「みんなでよう子どもの本」については、作成方法の見直しを検討し、あわせて利用者に効果的に届くように検討を行う。 ・2025年度も継続して、「YA通信」等を発行し、市内の全中学校・公立高校、私立学校等37校、子どもセンター等へ配布する。	・刊行頻度や効果的な配布方法について、引き続き検討を行う。
1	8	ブックリストの作成・配布	赤ちゃんにおすすめの絵本の紹介	保健予防課	乳保	出産後の保護者と接する健診等の機会に、赤ちゃんにおすすめの絵本について情報提供します。	・毎月行われる3～4か月健診において、赤ちゃんにおすすめの絵本のリーフレットを配布予定である。	・紹介する時期や媒体など、効果的な方法を模索する必要がある。
1	9	子ども読書の周知活動	図書館のイベント・講座	図書館	小中	子ども・若者が読書や図書館に興味を持つきっかけとなるような、イベント・講座を行います。	子ども・若者に参加してもらえるよう、イベントを行っていく。	夏休みのイベントなどを図書館ホームページのこどもページと、まちだ子育てサイトにも掲載する。
1	10	子ども読書の周知活動	若者の参画イベント	図書館	中	若者が読書や図書館に興味を持つきっかけとなるように、同世代の若者自身が、自分たちが楽しいと思うイベントの企画・運営を行います。	毎月行う図書館プランナーミーティングで企画したイベントを実施する予定。 ※図書館プランナーとは、15歳から25歳までの方が集まり、図書館でのイベントの企画や運営を行うボランティアをいう。	若者の間にイベントが周知されるよう、恒常的にイベントを行う必要がある。そのため、企画が続くように図書館プランナーのサポートを行っていく。

基本目標Ⅰ ◎子どもが本と出会うきっかけ作り

基本目標	通し番号	取組グループ	取り組み	担当課	対象	内容	2025年度取組予定	現状の課題／2026年度以降の予定等
1	11	子ども読書の周知活動	図書館見学の受け入れ（利用ガイダンス、施設見学）	図書館	幼小中	学校からの見学依頼を受け、図書館案内や書庫のバックヤード見学などを行い、図書館や本に興味関心を持ってもらいます。	・近隣の小学校からの見学依頼を受け、図書館や移動図書館を紹介し、図書館や本に興味関心を持ってもらえるようにする。	・対象学年に応じて内容を工夫し、本に親しんでもらうきっかけづくりとする。
1	12	子ども読書の周知活動	移動図書館の出張運行	図書館	乳幼小保他	保育園、幼稚園、イベント会場など、子どもが集まる場所に移動図書館の出張運行を行います。本の貸出のほか、紙芝居やミニおはなし会などを行いながら、本に触れる機会を作ります。	・保育園、幼稚園、イベント会場など12か所に移動図書館の出張運行を行う予定である。	・子どもが集まる新たな出張運行先を増やすことが課題である。
1	13	子ども読書の周知活動	文学館のイベント・講座	図書館(文学館)	小中	町田市内の小学校・中学校・高等学校に在学する生徒を対象に「ショートショートコンクール」を開催します。コンテストを通じて自由に「書くこと」の楽しさを伝えます。	・ショートショートコンクールへの応募を促すため、各校担当教員等への積極的なPRと書き方講座(出張事業)を実施する。 ・中央図書館、市庁舎イベントスタジオ等で受賞作の展示を実施し、コンクールのPR活動に努める。	・コンクールの応募作品数や出張事業の依頼が年々増えており、増加する作品の下読みや出張事業の依頼に対応するため、業務の見直し、担当職員の増加をするなど対応が必要である。 ・予算が縮小していく中で、WebやSNSなど無料でPRができる手法を活かしたコンクールの周知が課題である。
1	14	子ども読書の周知活動	絵本、児童文学、漫画を題材にした展覧会	図書館(文学館)	乳幼小中保他	夏季には絵本作家や子ども向け(主として乳幼児から小学校低学年とその保護者)のテーマを扱った企画展を開催します。漫画など文学に隣接するジャンルの展覧会の開催に積極的に取り組みます。	・春季展覧会では、おーなり由子氏の絵本『ことばのかたち』と鯨庭氏の漫画『言葉の獣』を展示する。 ・夏季展覧会では、くだものをテーマにした絵本原画展「絵本の森でフルーツ狩り」を開催する。	・多くの子どもたち、保護者の方に足を運んで貰える魅力的な絵本展を継続的に実施していくことが必要である。 ・常に新しい周知の方法を模索しチャレンジしていくことが必要である。 ・漫画やアニメ等のコンテンツは文学や絵本に比べて権利関係が厳しく出展調整に時間が掛かることから、これまで以上に計画的に準備を進めていくことが必要である。
1	15	子ども読書の周知活動	マイ保育園登録時の絵本配布	子育て推進課	乳保	マイ保育園に初めて登録する0歳児のご家庭に、図書館のブックリストを参考に選んだ絵本のプレゼントを行います。	・0歳でマイ保育園新規登録者には、絵本を配布する。	・引き続き0歳でマイ保育園新規登録者には、絵本を配布する。
1	16	学校での読書活動	各校特色のある読書活動	指導課	小中	学校の教育計画の「指導の重点」に明記して、市立小学校・中学校で、それぞれ特色ある読書活動に継続的に取り組みます。	・特色ある読書活動に取り組んでいる学校の実践例を研修等で紹介できるように、情報収集を行う。	・特色ある読書活動に取り組んでいる学校の実践例を研修等で紹介できるように、情報収集を行っていく。

基本目標Ⅱ ◎いつでも身近なところに本がある環境作り

基本目標	通し番号	取組グループ	取り組み	担当課	対象	内容	2025年度取組予定	現状の課題／2026年度以降の予定等
2	1	本と出会う場所	町田第一中学校図書室ここまちベース	生涯学習センター	乳幼小中保他	町田第一中学校の図書室「ここまちベース」を、図書室にある本を読む場所とだけでなく、学習支援や各種イベントを行うことで、学びの場、憩いの場、多世代交流の場とします。	・好評の「ここまちの塾」の継続や多世代交流につながる各種イベントを実施する予定である。また、絵本コーナーに設置している「ここまちの芝生」を活用して、未就学児とその保護者を対象としたイベントを試みる予定である。	・2025年度は、特別教室等の貸出し業務と図書室開放の運営を同一法人に委託したこともあり、まずは運営を安定した軌道に乗せる必要がある。一方、同一法人に委託したことにより、特別教室等と図書室を連動させたイベントを実施することも検討している。
2	2	本と出会う場所	玉川学園駅前連絡所児童図書室	市民課(玉川学園駅前連絡所)	乳幼小保	児童図書室には、乳幼児向けの絵本から、児童書、紙芝居など約7,000冊の本があります。1人4冊、2週間借りることができます。対象は、町田市在住・在学・在勤の方です。	・子どもたちに興味をもってもらう取り組みとして、季節の絵本や個別の作家の特集コーナーを設置する。 ・利用者や地域の方から提供される再利用本を活用する。	・利用者はリピーターが多く、新規利用者の獲得は工夫が求められる。
2	3	本の充実	図書館	図書館	乳幼小中保他	子どもたちに読書を楽しんでもらえるように、蔵書の構成を踏まえて、実際に現物を確認し、内容を精査してから購入します。子どもたちの興味を引くような本や、調べ学習に対応できるような本など、さまざまなニーズに幅広く対応できるようにします。	・カウンター業務における読書相談の内容を、全館の担当者の打ち合わせで共有し、選書に活用する。 ・ロングセラー本の買い替え、小学生に人気がある本の新規購入を行う。	・本を読む習慣がない子どもたちに興味を持ってもらえるよう、資料のニーズ把握に努める。
2	4	本の充実	子どもセンター	児童青少年課	乳幼小中保	子どもセンターばお分館WAAAOは、「絵本の世界へようこそ」がコンセプトです。子どもたちに本に親しんでもらえるよう「ドキドキ図書コーナー」のスペースを設置しています。	・引き続き、多くの子どもたちが本を手にとり、本に興味を持ってもらえるように、低い書棚に配架するなどの工夫を行う。 ・小学生の利用者が増えているので、小学生にアンケートを取り、本を揃えていきたい。	・乳幼児から小学生の年齢層にあった本を充実させる。

基本目標Ⅱ ◎いつでも身近なところに本がある環境作り

基本目標	通し番号	取組グループ	取り組み	担当課	対象	内容	2025年度の取組予定	現状の課題／2026年度以降の予定等
2	5	本の充実	公立保育園および地域子育て相談センター	子育て推進課	乳幼保	身近で絵本が借りられるよう、絵本の貸し出しを行います。 図書館からのリサイクル図書を利用し、本の入れ替えを定期的に行っています。 貸し出しの際には、季節の本や子どもに人気の本を紹介し、興味関心を持ってもらえるように行います。	・絵本の貸し出しを行い、併せて絵本の紹介も行っていく。 ・地域子育て相談センターでは年齢に応じた絵本の紹介を行う。	・絵本の貸し出しを行い、併せて絵本の紹介も行っていく。 ・地域子育て相談センターでは年齢に応じた絵本の紹介を行う。
2	6	学校図書館の充実	学校図書館支援貸出	図書館	小中他	さるびあ図書館を拠点に、学校図書館への支援貸出を行います。 学校での調べ学習をサポートするため、図書館で必要に合わせた本を選び、配本しています。	・学校図書館支援貸出について各学校へ周知することで、学校図書館支援貸出の活用を進めていく。	・スムーズで簡単に支援貸出ができるように、学校からの依頼回数の多いテーマの本の追加購入を進める。
2	7	学校図書館の充実	学校図書館の蔵書整備	教育総務課	小中	児童生徒が本に触れあう機会を増やし、豊かな知識や心を持つことができるよう、学校図書館図書標準の達成と廃棄規準に基づき、計画的に蔵書の更新を進めます。	・各学校図書館の蔵書数を確認し、学校図書館図書標準の全校達成および学校図書更新比率全国平均以上38校達成に向けて支援する。	・作成した廃棄規準に基づく図書の更新が課題である。 各学校図書館が十分な蔵書数を確保しつつ、蔵書の更新が適正に行われるように、引続き学校図書館図書標準および学校図書更新比率の全国平均以上の達成を目指す。
2	8	学校図書館の充実	「学校図書館活用の手引き」の活用	指導課	他	児童・生徒の読書活動の充実のため、「学校図書館活用の手引き」の活用状況を把握し、学校図書館担当者研修会の研修等の内容に反映させます。	・第1回目の研修で、「学校図書館活用の手引き」について周知するとともに、各学校の取組について情報交換を行う。	・「学校図書館活用の手引き」を活用し、市立学校図書館の蔵書および運営の充実を行っていく。
2	9	学校図書館の充実	学校図書館の運営人材の確保	指導課	他	学校司書等の学校図書館の運営を担う人材確保の方法を検討するとともに、「小・中学校モデル事業」を行います。	・巡回型学校図書指導員を運用し、人材確保と、円滑な運営を進める。	・巡回型学校図書指導員事業の成果と課題を整理する。

基本目標Ⅱ ◎いつでも身近なところに本がある環境作り

基本目標	通し番号	取組グループ	取り組み	担当課	対象	内容	2025年度取組予定	現状の課題／2026年度以降の予定等
2	10	学校図書館の充実	電子書籍サービスの活用	指導課	小中	学校図書館の機能充実を行うため、学校では市立図書館の電子書籍サービスを活用します。	・学校図書館担当者研修会等で電子書籍サービスを活用できるよう研修を行い、校内に広めていく。	・市立小学校・中学校に通う全児童・生徒に配布している電子書籍サービスのIDを活用し、読書習慣の確立につなげていく。
2	11	情報の発信	図書館ホームページ等での情報発信	図書館	小中 保他	子どもたちの読書のきっかけや、本との出会いとなるように、イベント(おはなし会など)の情報や、おすすめ本リスト等を、図書館ホームページ、まちだ子育てサイト、X(旧Twitter)でお知らせします。 また、図書館ホームページでは、本と出会う場所や団体の情報をまとめた「町田市読書MAP」や、学校の先生に向けた「市内小・中学校の先生方へ」など、幅広い情報を掲載します。	図書館ホームページが2025年3月に更改したため、運用方法を検討していく。	図書館ホームページの更改にあわせ、見やすいホームページになるよう、記事の公開方法等について検討を続けていく。
2	12	情報の発信	「みんなが読める本」の周知活動	図書館	幼小 中保他	みんなが読むことができるさまざまな「本」があります。「本」を必要としている子どもだけではなく、周りの人たちにも知ってもらえるように、周知活動を行います。	さまざまな読書方法について、イベントや展示により広報予定である。 ・館内展示等で図書館が実施する障がい者向けサービスについて周知する。 ・点字絵本の特集コーナーを、毎月内容を変更して継続的に実施する。 ・夏休み期間に子ども向けイベント(マルチメディアデイズ上映会、点字打ち体験会等)を実施する。	必要な方にサービスを利用してもらえよう、PR展示などの広報を継続する必要がある。より多くの方の利用につながるよう、展示やイベントなどの実施内容の改善を行う。
2	13	情報の発信	「家庭学習推進の手引き」の提供	指導課	保	「家庭学習推進の手引き」を全家庭に配付し、読書に親しむことを広めていきます。	・家庭学習の一環として、「読書活動の推進」を行うことを継続する。 ・中央図書館とも連携し、電子書籍の活用事例等の紹介を行い、クロムブックを用いた家庭での読書活動も啓発する。	・市立小学校・中学校に通う新1年生の児童・生徒の家庭に「家庭学習推進の手引き」を配付し、子どもたちに読書習慣が身に付くことを目指していく。
2	14	情報の発信	「子育てひろばカレンダー」の発行	子育て推進課	保	子育てひろばカレンダーを月に1回発行し、子育てひろばやおはなし会などの情報発信を行います。	・子育てひろばカレンダー、まちだ子育てサイトにて、おはなし会などの情報発信を行う。	・引き続き子育てひろばカレンダー、まちだ子育てサイトにて、おはなし会などの情報発信を行う。

基本目標Ⅲ 子どもの読書に関わる人の配置と育成

基本目標	通し番号	取組グループ	取り組み	担当課	対象	内容	2025年度取組予定	現状の課題／2026年度以降の予定等
3	1	学校関係者への研修	学校図書館担当者研修	指導課	他	図書指導員が司書教諭等と連携して円滑に図書館運営が行えるように、蔵書管理、環境整備、学校図書館を活用した学習等、学校図書館を充実させるための研修を行います。また、図書指導員間での情報共有も行っていきます。	<ul style="list-style-type: none"> ・図書指導員と学校の図書担当が連携して、学校ごとの組織的・計画的な蔵書管理、調和のとれた蔵書や環境整備の研修を計画・実施する。 ・図書指導員間での情報共有を取り入れた研修の場の設定を行う。 	<ul style="list-style-type: none"> ・学校図書館担当者研修会において、「学校図書館活用の手引き」の周知を行い、手引きに掲載された内容や実践事例を踏まえた研修内容を検討して行う。
3	2	学校関係者への研修	新任教諭への図書館研修	指導課	他	新任教諭の読書活動に対する知識が深まるように、図書館研修を行います。	<ul style="list-style-type: none"> ・初任者等研修の中で、町田市図書館の利用と図書支援サービスについての研修内容を取り入れる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・今後の授業に役立つように市立小学校・中学校の新任教諭へ、図書館の図書支援サービス等に関する研修を行う。
3	3	ボランティア支援	市民向け絵本の読み聞かせ講座	図書館	保他	保育園・幼稚園等や小学校、学童保育クラブで読み聞かせを行っている保護者等を対象に、絵本の読み聞かせ講座を行います。本の選び方や読み聞かせ方の技術向上を目指します。	<ul style="list-style-type: none"> ・市内の小学校や学童クラブなどで読み聞かせに関わる活動をしている保護者等を対象として、市民向け講座を開催する。読み聞かせ講座(基礎編)、紙芝居講座、わらべうた講座を予定。 	<ul style="list-style-type: none"> ・絵本講座の内容の固定化が課題とされていたため、新規に紙芝居講座等を実施・検証し、今後のテーマ設定に活かす。
3	4	ボランティア支援	おはなし会ボランティアの養成講座	図書館	保他	おはなし会ボランティア養成講座を開催し、図書館で活躍するボランティアを新たに育てます。	<ul style="list-style-type: none"> ・絵本の読み聞かせを主に行うおはなし会ボランティア養成講座を開催する。 10月 ボランティア養成講座(全3回) 	<ul style="list-style-type: none"> ・ボランティアの方々が活動しやすいよう支援していく。
3	5	保護者向け講座	児童文学講座	図書館(文学館)	保他	絵本作家や編集者等の講演会やワークショップを通して、本や本づくりに携わる人たちと交流し、本に対する理解を深めるきっかけを作ります。	<ul style="list-style-type: none"> ・夏季展覧会に併せて、くだものの絵本に因んだ親子参加のワークショップを実施予定である。 ・絵本作家や編集者を迎えた講演会やトークショーを開催する。 	<ul style="list-style-type: none"> ・子育てをする環境や社会状況も変化している中で、保護者のニーズに合わせたワークショップや講演会を企画することが重要である。 ・申込締切後のキャンセル、当日の無断キャンセルへの対応が課題になっている。